

**総合部会における審議結果一覧  
(沖縄21世紀ビジョン基本計画改定案)**

資料

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
<b>【第4回総合部会開催時に提出された意見】</b>						
1	府本禮司 専門委員	第1章 総説 1ページ 21行	島しょ経済の不利性の克服は いまだ・・・	島しょ経済の不利性とは具体的に どのようなことを示し、その不利性 は、どの様な指標で評価できると考 えればよいのか	いまだ十分ではなく、としている からには不利性克服がなされた場 合の具体的なイメージがあるのでは と推察するが	<b>【企画部、商工労働部、農林水産部】</b> 本県は我が国唯一の島しょ県であり、 本土から遠隔地にあるという地理的 特性から、物流の高コスト化や市場 規模の狭隘性などの不利性を有して おります。 このため、県では物流・配送拠点の 整備や輸送体制の最適化、輸送費の 補助等に取り組んでいるところで あり、貨物取扱量の増加などを目標 に取組の効果を検証し、改善を図っ ているところです。 コスト面の課題が解消され価格が安 定すれば、本土市場における県産品 の認知度向上へとつながり、競争力 が確保されるものと考えております。
2		同ページ 22行	広大な米軍基地の負担軽減、・・・	広大な米軍基地から派生する諸問題 にかかる県民の負担軽減、・・・	広大な米軍基地の何を負担軽減する のか明確にする方がよいのではと考 えるが	<b>【知事公室】</b> 米軍基地から派生する事件・事故、 騒音などの諸問題による県民への負 担という側面もありますが、広大な米 軍基地の存在そのものにより県土利 用が制限され、県民生活や経済振興 に大きな影響を与えていることから 、原文の方がより幅広い意味合い を含むと考えております。
3		3ページ 21行	県民とともに県計画を策定する意義 ・・・	県民とともに沖縄21世紀ビジョン 基本計画を策定する意義・・・	単なる県計画ではないだろう、沖縄 21世紀ビジョン基本計画と正式名を 使用すべきでは	<b>【企画部】</b> 「計画策定の意義」については、平 成24年の計画策定時の情勢として 、様々な時代潮流等を踏まえ沖縄 21世紀ビジョンを県民とともに策 定したこと、ビジョンの実現に向け て県自らが沖縄振興計画を策定し 施策に取り組んでいくことなど、 県として計画を策定する意義を述 べております。 県が策定主体となった初めての総 合計画であることを強調する意味 合いもこめて「県計画」と表記して おります。
4		4ページ 22行	アジア・太平洋地域の平和と発展に 貢献する・・・	アジア・太平洋地域の発展と平和に 貢献する・・・	言葉の順番の整理	<b>【企画部】</b> 第1章「1基本的課題(3)基本的課 題」、「2基本的指針(3)貢献」、「 4～施策展開の枠組み」や、将来像 4の【将来像実現への道筋】等、複 数の箇所「アジア・太平洋地域の 平和と持続的発展に向けて～」との 文言を用いておりますので、原文 どおりとさせていただきます。

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
5		第2章基本方向 7ページ 12行	広大な米軍基地が形成され、…	広大な米軍基地が形成され、その大部分が引き継がれたことにより、…	復帰時において基本的な構造と課題が解決されなかったことを考慮すべきでは、	【企画部、知事公室】 ビジョン基本計画は10年間の総合計画であり、ビジョンで示した将来像の実現等に向けた「基本方向」や「基本施策」を明記しております。第2章「基本方向」については、本計画の基本方向として、時代潮流や地域特性を踏まえた「基本的課題」や取組の指針となる「基本的指針」、各施策に通底する「施策展開の基軸的な考え」等をまとめております。計画の基本となる方向性をまとめていることから、原文の中には抽象的な表現となっている箇所もありますが、方向性が変わらなければ、策定時の主旨を踏まえ、原文どおりとさせていただきますと考えております。
6		同ページ 13行	…うえで大きな障害となっています。とりわけ、過密な中南部都市圏における… …大きなポテンシャルを有しています。	…います。とりわけ、中南部都市圏における都市構造への影響は大きいことから、米軍基地の返還跡地は、…  …います。このことから、中南部都市圏における米軍基地の返還跡地は、…	前文が「大きな障害となっています。」としており、とりわけ以下の文書の展開を工夫する必要があるのでは	【企画部】 No.5の回答と同じ。
7		同ページ 16行	…有しています。	…有しています。また、戦争体験やその後の…	文意が、同一であることから、後段と繋ぐ方が可能性が強調できるのでは	【企画部】 No.5の回答と同じ。
8		8ページ最終段落	…過重な負担を背負っている現状を踏まえ、負担の在り方…	…過重な基地負担を背負っている現状を踏まえ、かかる負担の在り方…	基地負担を明確にすべき	【企画部、知事公室】 No.5の回答と同じ。
9		8ページ最終段落	…有効かつ適切に進めることが必要です。	…有効かつ適切に進められることが必要です。	跡地利用を進めるのは国に責任ではないか	【企画部】 跡地利用は、国、県、市町村等が連携し進めていくものでもありますので、原文どおりとさせていただきます。
10		19ページ(7)部分	有人国境離島	波照間島などの有人国境離島	例示を示す方がわかりやすい	【企画部】 No.5の回答と同じ。

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
11		19ページ(7)部分	我が国の国益貢献に資する	我が国の国益(確保に)貢献	国益の方向性が示せないか	【企画部】 基本計画の基本的指針の一つとして、「貢献」を掲げており、人口が伸び続ける本県の活力や東アジアの中心に位置し亜熱帯海洋性気候を有する地理的特性など、本県の発展可能性を多様な「貢献」という形で生かしていくこととしております。「貢献」することで国益の確保にもつながると考えておりますので、原文どおりとさせていただきます。
12		第3章「基本施策」 24ページ後段	地下水質のモニタリングを実施し現状把握に努めます。	地下水の水質モニタリングを実施し、現状把握に努めます。	地下水質のモニタリングでもよいと思うが、一般的かな	【企画部、環境部】※環境部会所掌範囲 ビジョン基本計画第3章「基本施策」については、基本施策の方向性や、施策の展開方向等を明記しており、ここで示された施策展開に基づき、ビジョン実施計画で具体的な取組等を行っております。このため、原文の中には抽象的な表現となっている箇所もありますが、施策の展開方向が変わらないものについては、原文どおりとさせていただき、実施計画の中で具体的な取組等を検討させていただければと考えております。
13		25ページエの段	小規模開発に対しては環境	小規模開発に対しても環境	環境影響評価の実施範囲を追加するのでは	【企画部、環境部】※環境部会所掌範囲 No.12の回答と同じ。
14		52ページ前段部	対策を図り、返還前から基地立ち入りによる環境調査が…	対策を図り、返還が合意された米軍施設についても返還前から立ち入りによる環境調査が…	前段部分は、米軍基地すべてを対象としており、当該部は、返還合意された施設が対象となる	【環境部】 委員ご指摘のとおり、返還前からの基地立ち入りによる環境調査は、日米地位協定上、返還合意された基地が対象となりますが、ご指摘の箇所については、地位協定の見直しについて記載しており、県では返還合意に関わらず基地立ち入りによる環境調査が出来ることを求めていることから、原文どおりとさせていただきます。
15		52ページ前段部	行い、当該結果を迅速に説明するよう求めます。	行い、当該結果を迅速に公開するとともに説明するよう求めます。	対処方法・結果を公表することが重要	【企画部、環境部、知事公室】 No.12の回答と同じ。
16		57ページ中段	大規模な駐留軍用地跡地の有効利用を	大規模な駐留軍用地の返還跡地の有効利用を	原文でもよいが	【企画部】 No.12の回答と同じ。
17		61ページ ア最終	自然、文化等多様な魅力…	また、自然、文化等多様な魅力…	原文でもよいが	【企画部】※観光・交流産業部会所掌範囲 No.12の回答と同じ。

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
18		76ページMICE	国際会議を開催するためには、多言語通訳の確保が重要と思われるが、通訳の確保についてはどこにも触れられていない	通訳の育成と確保のについて言及してほしい	検討ください	【観光・交流産業部会】へ申し送り ※観光・交流産業部会所掌範囲
19		82ページ前段	防暑施設	具体的な施設又は機能を表示	検討ください	【農林水産部】※農林水産業振興部会所掌範囲 基本計画では具体的な事例等を明記せずに、実施計画の中で具体的な機能をもった施設整備に取り組んでいくこととしていますので、具体的な施設等の記述は盛り込まないこととさせていただきます。
20		94ページ中段	ドクターヘリ事業や添乗医師等確保事業などの	ドクターヘリや添乗医師等確保などの	修正文案	【保健医療部】※福祉・保健部会所掌範囲 委員の御意見を踏まえ、「ドクターヘリや添乗医師等確保などの」に修正いたします。
21		95ページ頭書部	施設の更新整備、機能向上等を推進します。	施設の更新、機能向上等の整備を推進します。	修正文案	【企画部、土木建築部】※基盤整備部会所掌範囲 No.12の回答と同じ。
22		95ページ前段部	相互に連結させるための整備を実施します。	相互に連結させるための(何をどう)整備を実施します。	具体的な整備する施設又は機能を示すべきでは	【土木建築部】※基盤整備部会所掌範囲 ご指摘の箇所につきましては、段落の冒頭に「道路については、」と記載しているとおり、交通拠点間を「道路」で連結させるための整備となっております。具体的に整備する道路等につきましては、実施計画の中で取り組んでいくこととしていますので、基本計画で具体的な事例等を明記することは控えさせていただきます。
23		95ページ エの段	辺地地域の条件不利性を克服し、	条件不利性は通常使用するかし、	言いたいことは理解できるが、検討が必要	【企画部】※離島過疎地域振興部会所掌範囲 基本計画第4章「克服すべき沖縄の固有課題」で「2離島の条件不利性克服と国益貢献」と用いるなど、基本計画の様々な項目において、「条件不利性」という文言を用いており、国(国交省)においても、都道府県説明会など、様々な場面で離島・過疎・辺地地域の地理的状況を表す文言として「条件不利性」を用いておりますので、原文どおりとさせていただきます。
24		99ページ 前段	地権者等に土地が引き渡される前に区域の全部について、土壤… …支障除去措置が徹底して行われます。	地権者等に土地が引き渡される前に、土壤… …支障除去措置が区域の全部について徹底して行われます。	原文でもよいが、文章の流れから	【企画部】 No.12の回答と同じ。

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
25		99ページ 後段	軍用地跡地の一体的な整備や跡地整備に伴い必要となる既成市街地への関連道路等の整備を行います。	軍用地跡地の一体的な整備に必要となる既成市街地に連担する関連道路等の整備を行います。	原文でもよいが、文章の流れの整理	【企画部】 この段落では、 ①周辺密集市街地と駐留軍用地跡地の一体的な整備 ②跡地整備に伴い必要となる既成市街地内への関連道路等の整備 両方の整備に取り組むことを記載しております。 修正文案では、「関連道路等の整備」のみが対象となるように解釈されかねませんので、原文どおりとさせていただきます。
26		99ページ 後段	世界に誇れるような沖縄らしい風景	世界に誇れる沖縄らしい風景	原文でもよいが、目標を明確にしたい	【企画部】 No.12の回答と同じ。
27		99ページ 後段	環境に配慮した整備によって、地球温暖化問題	環境に配慮することにより、地球温暖化問題	原文でもよいが、目標を明確にしたい	【企画部】 No.12の回答と同じ。
28		99ページ 後段	あわせて、地権者等の負担軽減を	また、(なお、)地権者等の負担軽減を	原文でもよいが、文章の流れから	【企画部】 基本計画の構成上、文章のつなぎについては、「また、」→「さらに、」→「あわせて」で統一しているため、原文どおりとさせていただきます。
29		100ページ中段	その実施に向けた取り組みを促進します。	その実施に向けた取り組みを推進します。	原文でもよいが、文章の流れから	【企画部】 基本計画では、県が主体的に実施していくものを「推進する。」と表記し、主体が県以外の機関等となっており、当該機関等に取り組を促す場合は「促進する。」と表記しております。 該当の施策展開では国に国家プロジェクトの導入を求めていくことから、「促進する。」と表記しております。
30		100ページ後段	施策等について必要な協議を行います。	施策等について必要な協議を行い、促進を図ります。	原文でもよいが、目標を明確にしたい	【企画部】 No.12の回答と同じ。
31		121ページ中段	地位協定上の不公平性からくる不利益、油類の流出など、他地域と比べても偏在的・不公平な様相を呈しており、	油類の流出等のほか、地位協定上の不公平性からくる不利益など、本土の他地域と比べても偏在的で不公平な負担の様相を呈しており、	原文でもよいが、文章の流れから一部修正しているが、地位協定で特権を付与され、不公平であることは理解できるが、一般的に理解できるか検討が必要と思う	【企画部、知事公室】 No.12の回答と同じ。

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
32		121ページ後段	地権者の負担軽減など様々な課題の解決・・・	地権者の(負担軽減)など様々な課題の解決・・・	負担軽減以外の的確な言葉が浮かばないが、負担軽減が課題なのかどうか検討する必要がある	【企画部】 返還され跡地開発が進むまでの間、地権者にとっては、地料が得られなくなる一方で土地の利活用も出来ないことから、その負担を軽減するため、県や地主会の要望を踏まえ平成24年に制定された跡地法では、返還後の土地引渡しまでは補償金が、引渡し後3年間は給付金が、その後に土地区画整理事業を実施する場合には特定給付金が支給されることとなりました。県としては、地権者の負担軽減を図ることは円滑な跡地利用を進めるうえでの課題と認識しております。
33		122ページ前段	安全保障全般について国民的議論が・・・	安全保障全般について国の十分な説明が行われていないことから、国民的議論が・・・	原文でもよいが、目標を明確にしたい	【企画部、知事公室】 No.12の回答と同じ。
34		122ページ前段	今後米軍基地の負担を含む	今後米軍基地の公平な負担を含む	原文でもよいが、目標を明確にしたい	【企画部、知事公室】 No.12の回答と同じ。
35		122ページ前段	米軍基地の整理縮小を図り、・・・	そのため、引き続き米軍基地の整理縮小を図り	原文でもよいが、目標を明確にしたい	【企画部、知事公室】 No.12の回答と同じ。
36		122ページ 後段	様々な事件・事故や環境問題への取組、・・・	様々な事件・事故や環境問題に関する情報開示、・・・	原文でもよいが、目標を明確にしたい	【企画部、知事公室】 No.12の回答と同じ。
37		122ページ 後段	深まるよう、あらゆる機会を通じて取り組みます。	もう少し強い表現が好ましい。	検討中	

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
<b>【第4回総合部会における意見】</b>						
38	喜久里睦 専門委員 (基盤整備部会)	第1章「総説」 1計画策定の意義 1ページ 下から6～7行目	「広大な米軍の基地軽減、離島の振興、公共交通の抜本的改善など沖縄固有の課題も解決が図られなければなりません。」	「広大な米軍の基地軽減、離島の振興、公共交通の抜本的改善など沖縄固有の課題も解決が図られなければなりません。 <u>また、大規模な自然災害に備えた社会資本の強化と島嶼県であることを勘案した防災対策を通じて県土強靱化を図ることも重要である</u> 」  ※上記下線部分を追加	災害に強い県土づくりの方向については、非常に大事な項目であるが、防災対策に関する島嶼性にかかわる対策についての記述が少し乏しい。 沖縄の島嶼性の課題は、大規模災害があった場合、隣県からの救助活動等が数日かかり、離島であればさらにかかると言われている。その間、自助力を保持する必要がある。 【議事録17ページ】	【企画部】 第1章の「計画策定の意義」については、これまでの時代潮流から沖縄振興のあり方が変化してきたこと、このような中、県民が望む20年後の沖縄のあるべき姿、ありたい姿を描いた沖縄21世紀ビジョンを平成22年3月に策定したこと、同ビジョンの実現に向けた施策を束ねたものとして、沖縄県が策定する初めての総合計画であるビジョン基本計画を策定したことなどをまとめております。 このため、基地問題、離島振興、公共交通、地方自治といったビジョンで示す4つの固有課題の克服や将来像実現に向けて県民とともに計画に基づく施策の実現を図っていくことなどを明記し、計画策定の意義としてまとめておりますので、ここに防災の観点からの記述を追記することは控えさせていただきたいと考えております。
39	瀬口浩一 専門委員			災害時に、特に外国人観光客にどうふうに対応するかという記載が必要ではないか。	観光客がかなり多くなってきているので記載が必要ではないか。 【議事録19ページ】	【観光・交流産業部会】へ申し送り
40	大城郁寛委員 (総合部会長)			外国人観光客が来て、その中で数パーセントでも事故に遭ったり病気になるったりしたときの処理の問題について。	観光立県というのであれば少し体系的にどうするかは検討してもいいのかなと思いました。 【議事録24～25ページ】	【観光・交流産業部会】へ申し送り
41				今後、5年、10年経った時に、沖縄県の高齢者、医療、介護、高齢者ドライバーの問題など、高齢化社会にどうスタンスで県は臨んでいくのかということをもう少し意識しながら書いてもいいのではないかと。	沖縄県が今後の高齢化社会について、どういう基本的なスタンスで臨むのかというのが読んでいて具体的にイメージがわかなかつた。圏域別に医療体制をどうするか、介護をどうするか。 【議事録22ページ】	【福祉・保健部会】へ申し送り
42				復帰後、整備したインフラを今後、沖縄県としてどう維持、更新していくかについてもう少し踏み込んで書いてもいいのではないかと。	復帰後、ものすごい勢いで社会資本が整備され、インフラが整備された。耐用年数は50年なので近いうちに老朽化が始まる。特に離島・僻地の市町村の島々も含め、所有しているインフラがどういう状態で、どうふうにメンテナンスし、維持していくのかという議論をしておかないといけないと思う。 【議事録22ページ】	【基盤整備部会】へ申し送り

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
43	石田達也 専門委員			高齢化とあわせて人口減少のところもトーンが弱いのかなと思う。	人口減少が課題ということ認識されているが、読んだ感じだと10年後には多分減るんだろうという感じがして、それをどういうふうにつなぎとめるのか。例えば毎年3,000人ぐらい優秀な若者が本土の大学に進学するが、そういった若者たちをどうやってより多く帰ってきてもらうのか、あるいは子どもを育てたいと思う環境にどうやってしていこうかなとか、もうちょっと深掘りするといいかと思う。 【議事録23ページ】	【企画部】 委員ご指摘を踏まえ、56ページ2-(7)-ア「県民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進」の最後の3行を以下のとおり修正いたします。  「 <u>沖縄県の人口は、平成37年(2025年)前後にピークを迎え、それ以降は減少することが見込まれています。人口が増加基調にある現段階から積極的な人口増加施策を展開し、地域の活力と成長力の維持・発展を図ることを目的とした「沖縄県人口増加計画(平成26年3月策定)」を推進し、安心して結婚し出産・子育てができる社会、雇用の場の創出や移住者の積極的な受け入れなど世界に開かれた活力ある社会、離島・過疎地域を含め県全域でバランスの取れた持続的な人口増加社会の実現に取り組めます。」</u>
44	大城郁寛委員 (総合部会長)			民間の賃貸住宅がすごい勢いで増えており、近いうちに空き家がいっぱい増えるだろうといわれている中で「公営住宅をつくっていきます。」ということを書いてある。民間の住宅を借り上げて所得向上するために家賃補助するような活用とか、そういう文言はあるので、その方向で書いていった方が今の時代の流れに合っていると思う。	ものすごい勢いで賃貸住宅が増えており、近い将来、その空き家が増えるだろうと言われているが、文章の中に「公営住宅をたくさんつくっていきます。」という文言があって、時代の流れと合っているのかなと思う。 【議事録24ページ】	【基盤整備部会】へ申し送り
45	瀬口浩一 専門委員	13ページ	「子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、子どもが健やかに生まれ育つ環境をつくる必要があります。」	ぼんやりしているように読める。	いろんな問題があるため、包括するとういう表現になったのかという印象ではあるが、ここだけを読むと広すぎるというか、ぼんやりしすぎた形で意味がわかりにくいという感覚を持った。 【議事録28～29ページ】	【保健医療部、子ども生活福祉部】 ご指摘の箇所につきましては、ビジョン基本計画の各施策に徹底する2つの基軸のうち「沖縄らしい優しい社会の構築」について、優しい社会を創っていくための施策展開をまとめていますので、包括的な表現となっております。「子どもの貧困対策」は、県全体で取り組むべき新たな重要課題であるため、同基軸に施策展開の方向性を盛り込むこととし、「沖縄県子どもの貧困対策計画」の基本理念と整合を図る記述としましたが、「子どもの貧困対策」と「子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備」が混在している表現となっているため、以下のとおり修正いたします。  「 <u>社会の絆で支えられたコミュニティを形成することによって、子どもが健やかに生まれ育ち、その将来が生まれ育った環境によって左右されることなく夢や希望を持って成長していける社会の実現を目指すとともに、県民全体で～</u> 」  【参考】沖縄県子どもの貧困対策計画～基本理念～ 社会の一番の宝である子どもたちの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、夢や希望をもって成長していける社会の実現を目指します。



番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
46	大城郁寛委員 (総合部会長)	13ページ	〃	「子どもの将来がその生まれ育った家庭や地域によって左右されないような子どもが育つ環境をつくる」 だったらいいのではないか。	この文章は違和感を感じる。「子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されないような環境をつくる」というと何か矛盾している。 【議事録31ページ】	【保健医療部、子ども生活福祉部】 同上 ※16ページ2行目についても以下のように修正いたします。 【修正前】 「子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持って健やかに生まれ育ち豊かな可能性が発揮できる環境づくり、」 ↓ 【修正後】 「 <u>子どもが健やかに生まれ育ち、その将来が生まれ育った環境によって左右されることなく夢や希望を持って成長していける環境整備、</u> 」
47	瀬口浩一 専門委員	14ページ	「MICE」について	どこかで語句説明があってもいいのかなと思う。	県民が読む時に、「MICE」の言葉がわかるかどうか？ 【議事録29ページ】	【企画部】 ビジョン基本計画の巻末に「用語解説」を掲載しておりますので、改定に伴い県民に対してわかりにくい用語については、「用語解説」に追加したいと思います。
48		171～173ページ	県事業と市町村事業の重複について	重複している部分の整理をするというような記述があってもいいかなと思う。 ⇒(大城部会長)「市町村と連携を図りつつ」とか、そんな感じの。(言葉でいいのでは。)	県も事業を行っていて、市町村も事業を行っているような行政サービスの場合に、昔はその必要性があったかもしれないが、今の時代はそれが重複と捉えられてしまっていて、それを整理する必要があるんじゃないかと思う。 【議事録29～30ページ】	【企画部】 173ページ「役割分担の明確化と協働体制の構築」の3行目に「このため、本計画の推進に当たっては、沖縄県と国、市町村との適切な役割分担のもと、(中略)各主体間で相互に連携・補完しあいながら県民共通の課題を社会全体で共有し、解決する体制づくりを目指します。」と、県と各主体間との連携・補完、役割分担については明記しておりますので、文言の追記は控えさせていただきたいと考えておりますが、行政サービスに協働で取り組むべきもの、役割分担をすべきものなど、市町村と連携を図りながら取り組んでまいります。
49	石田達也 専門委員	172ページ (2)計画の進捗管理等 第2段落目	「点検・評価を全庁的に行い」	「点検・評価を全庁的に <u>かつ効率的に行い</u> 」	PDCAをもっとシンプルにできる場所はシンプルにして、その空いた時間をぜひ県民や県内企業の方と話す時間に充ててほしい。職員の負担、仕事を減らしてほしいという意味で、仕事を減らせと書くと難しいので、「かつ効率的に」という言葉を入れていただければと思う。 【議事録31ページ】	【企画部】 PDCAについては、職員自らが課題等を評価・検証し次年度に向けて改善していくために重要な手続きだと考えております。しかし、委員ご指摘のとおりPDCAを実施するために県民や県内企業と向き合う時間を削るようなことは避ける必要があると考えております。そのため、PDCA自体も効率的に評価・検証出来る仕組みにするように改善する必要があると考えておりますが、具体的な手法や様式等につきましては、沖縄県PDCAサイクル実施要綱及び同実施要領に規定しておりますので、基本計画の改定ではなく、同要綱・要領を見直すことで対応させていただければと考えております。 今後、後期実施計画策定と併せ、同要綱・要領の見直しも検討させていただきます。

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
<b>【他部会から総合部会所掌分野に対する意見】</b>						
50	當山智士 専門委員 (観光・交流 産業部会)	第1章 4ページ 下から6行目	4 計画の目標 本計画においては～経済情勢 を踏まえた自立的発展の基礎 条件を整備し、～	P1 15行目の本ビジョン提議 の意義検証としての「…自立 型経済の構築が、」について は、これまでの振興計画におけ る目指すべき姿であるので、変 更は不要であるが、P4下から6 行目以降の「自立的発展」及び 「自立型経済」という文言につ いては、「自活的発展」及び「自 活型経済」という文言に変更す るのが望ましい。	意味に違いはないと考えるが、 沖縄のありたい姿を示すビジョ ンにおいては、より積極的で主 体的な意思が必用である。復帰 44年、国からの支援を受けての 経済復興から、自らの力だけで 経済発展をさせるだけの力とポ テンシャルをもつに至った今、 「自活型経済の構築」がありた い姿である。	【企画部】 ビジョン基本計画策定時、大きな時代変動の中で、アジア世界 に向けて視野を広げた時に、これまで不利とされてきた沖縄の 特性が有利なものとして捉え直すことができ、沖縄の発展可能 性を一層顕在化させることが期待できる状況がありました。この ため、本計画策定にあたっては、これまでの国が策定した沖縄 振興計画において基本方向の一つとして掲げられていた、「フロ ンティア創造型の振興策」と「民間主導の自立型経済の構築」を 継承発展させ、「日本と世界の架け橋となる強しなやかな自立 型経済の構築」を図ることを、各施策に通底する基軸の一つと して掲げております。 また、第1章2「基本的指針」(9ページ)に掲げる指針の一つと して「自立」を掲げており、その定義として、「多様な他主体と補 完しあい、支え合う関係の中で、ともに未来に向かって歩みなが ら、自らの意思と力で成長、発展し、生活の質を高めていく姿を 指す」こととしております。「自活」とすると、「他の支援等を受け ず自らの力だけで成長を図る」意味合いが強くなり、基本的指 針と整合がとれなくなることから原文どおりとさせていただい ければと考えております。
51	喜久里睦 専門委員 (基盤整備部会)	第3章 51ページ 16行目	～人的・物的支援や被災者の 受入等に取り組みます。	～人的・物的支援や被災者の 受入等に取り組みます。 <b>同時に 本県における大規模災害発生 も想定し、県外(近隣県)から の一連の救援活動等が速やかに 実施されるよう連携体制の構築 も進めます。</b>	本段落では県外での大規模災 害発生時に本県から救援活動 等を想定していますが、県内 で災害発生時に県外からの救 援活動等が円滑に行われるよ う近隣県との連携体制構築も 明記しておく必要があると思 います。	【知事公室】 ご指摘いただきました「大規模災害発生時における県外(近隣 県)との連携体制の構築につきましては、50ページ4行目に「大 規模災害への対応も踏まえた広域的連携の強化など消防防災 体制の強化を図る。」ことを明記し、「消防体制」と「防災体制」 の広域的な連携体制の強化に取り組んでおります。「防災体制」 の広域的連携にあたっては、県外自治体からの受入体制を強 化することも想定しており、具体的な取組として、平成27年度よ り、県外から救援物資・人員等を受入れ、迅速に県内被災地へ 送る仕組みを検討する調査を開始しております。今後は当該調 査を踏まえ「広域受援計画」を策定し、県外自治体との連携体 制の構築を図っていく計画でありますので、ご指摘の内容を追 記することは控えさせていただきたいと考えております。
52		第3章 38ページ 15行目	～県民の生命、財産を守るた め、生活基盤の強化や～	～県民の生命、財産を守るた め、 <b>公共施設等並びに生活基 盤の強化など県土強靱化</b> や～	災害時に県民の避難路となる 道路や避難先となる学校・公民 館などは公共施設であり、それ らの施設の強化を強調して県 土強靱化をしっかりと明文化す ることが大事だと思います。	【知事公室】 ご指摘の箇所につきましては、【将来像実現の道筋】として、将 来像2に掲げる7つの基本施策の展開方向をまとめておりま す。これを受け、具体的な施策展開へとつなげており、施策展 開2-(4)-イ「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」において、 公共施設の耐震化対策、老朽化対策、長寿命対策等も含め、 災害に強い県土づくりのための諸施策を掲げております。 これら災害・防災対策につきましては、前期計画期間中も取り 組んできており、後期においても引き続き取り組んでいくことか ら、今回の改定にあたり【将来像実現の道筋】に特記することは 控えさせていただければと考えております。

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
53		第2章 20ページ 1行目	～幅広い知識や教養、道徳心 及び国際性～	～幅広い知識や教養、 <b>高い技 術と技能</b> 、道徳心及び国際性 ～	「将来像実現の原動力となる人 づくり」を謳った項目ですから、 ホワイトカラーの人材だけでなく 社会資本整備等の生活基盤づ くりを担うブルーカラーの人材も 念頭に入れた表現として加筆す べきと考えます。	【企画部】 ご指摘の箇所につきましては、ビジョン基本計画に掲げる各施 策に通底する2つの基軸的な考えのもと、各種施策展開を下支 えする「人づくり」に関する方向性をまとめております。 未来の沖縄を担う子どもたちに対する人材育成や、2つの基軸 に沿った人材育成の方向性を明記しているほか、最後の段落 において、「これからの人づくりを進めるに当たっては、(中略) ニーズの高い人材を育成すると同時に、育てた人材がその能 力・技術・技能を最大限に発揮できるような環境づくりを推進し ます。」とあらゆる人材を育成する方向性をまとめておりますの で、原文どおりとさせていただきますと考えております。
54		第2章 20ページ 7行目	～の連携のもと推進します。	～の連携のもと推進します。 <b>ま た、県民生活と産業振興等を下 支えしている社会資本整備の 将来の担い手育成にも取り組 みます。</b>	上記の理由と同様、本段落に おいてはホワイトカラーの人材 像が表現されておりますが、ブ ルーカラーの人材像も具体化さ せるべきだと考えます。	【企画部】 同上
55	外間 守吉 専門委員 (離島過疎地域 振興部会)			防災対策について、離島の離 島に係る対策の表記が必要	離島の離島に係る防災対策が どこにも表記されておらず、これ について表記が必要。	【知事公室】 ビジョン基本計画改定案49ページ施策展開2-(4)-イ「災害に強 い県土づくりと防災体制の強化」では、本県が島しょ県であるこ とを踏まえ、大規模災害に対する県全体の危機管理体制の強 化を掲げており、ご指摘いただきました「離島の離島」への防災 対策も対象となります。 本計画に基づき、各市町村と連携を図りながら防災体制の強化 に取り組んでいるため、「離島の離島」に係る対策を追記するこ とは控えさせていただきたいと考えております。
56	呉屋 良昭 専門委員 (学術・人づくり 部会)	第3章 54ページ 32行	消防防災分野における情報通 信の高度化など情報通信技術 の利活用を促進します。		災害時の放送は日本語以外に ない。国際観光都市としてい るが、台風時には日本語だけな ので、防災という意味におい ては各離島においても、英語で発 表されるようなシステムを構築 していただきたい。	【知事公室、文化観光スポーツ部】 県では、沖縄県内の注意報・警報等の気象情報や市町村の被 害状況及び避難発令状況等を確認することができる防災情報 ポータルサイト「ハイサイ！防災で～びる」を開設しております。 本サイトは日本語、英語、中国語及び韓国語の4カ国語で閲覧 が可能であり、災害発生時は市町村と連携を図りながら、最新 の災害関連情報を掲載することに努めております。 また、外国人観光客が滞在中に台風等の災害に遭った際に同 サイトへと誘導出来るよう、外国人観光客向けのパンフレット等 に同サイトのURLやQRコードを掲載しております。

番号	委員 専門委員	改定(案) 章・頁・行	改定(案)	意見(修正文案等)	理由等	県の対応
57	井谷 信吾 専門委員 (離島過疎地域 振興部会)	第5章 164ページ 24-25行	災害時におけるライフライン確保のための社会資本の整備が求められています。	特に <u>周辺離島</u> においては、災害時におけるライフライン確保のための社会資本の整備や適切な支援体制が求められています。	特に周辺離島においては、民間の自主防災組織しかない。いつ起こるか分からない自然大災害に対して、民間の事業者が適切な速度で避難支援をすることは難しい。港湾施設が被害を受けた際には、長期的な孤立状況が予想されるので、住民等が防災に対する情報と明確な対処方法、あわせて、国の緊急支援体制(避難、物資、人的、心理的、復旧)が求められると思う。	【知事公室、子ども生活福祉部、土木建築部】 ご指摘の箇所につきましては、ビジョン基本計画第5章「圏域別展開」の中の八重山圏域における【現状と課題】及び【展開の基本方向】をまとめておりますが、八重山圏域も含め、県内全域における防災体制の強化につきましては、施策展開2-(4)-イ「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」(49ページ)でまとめております。 同施策展開において、離島の周辺離島も含め、県全体の大規模災害に対する防災・減災対策、救援・救護対策、災害応急・復旧対策、復興対策に取り組むことを掲げております。 また、50ページ4行目に「大規模災害への対応も踏まえた広域的連携の強化」について記載しており、国や県外自治体、県内市町村等と広域的な支援体制の強化に向けて取り組んでおりますので、第5章「圏域別展開」に周辺離島における防災対策の記述を追記することは控えさせていただきたいと考えております。
58		第5章 165ページ 20-21行	また、自然災害対策として、生活環境の安定確保を維持するための公共施設等の機能強化を図ります。	また、自然災害対策として、生活環境の安定確保を維持するための公共施設等の機能強化及び、災害時における <u>周辺離島地域への緊急支援体制</u> を図ります。		
59		第5章 169ページ 3-4行	災害時におけるボランティアの受入体制の整備等を促進します。	災害時におけるボランティアの受入体制の整備等を促進します。 <u>あわせて、災害後の早期支援体制</u> を図ります。		